

ブリヂストン・石橋秀一取締役代表執行役と面談 !!

令和6年10月16日（水）、**藏内勇夫**日本獣医師会会長（世界獣医師会次期会長）は、東京のブリヂストン本社を訪問し、**石橋秀一**取締役代表執行役と面談をされました。



藏内会長

石橋代表執行役

ブリヂストンは、「**最高の品質で社会に貢献**」を**普遍の使命**として掲げられています。



ブリヂストンの企業理念：「**この地球は、先祖からの贈り物ではない。子孫からの預かり物である。**」（ネイティブアメリカンの教え）

この教えは、「**私たちが使っている地球や自然の資源は、自分たちのためだけではなく、未来の世代のために大事に守らなければならない。**」という考え方を示しています。



ブリヂストンは、「2050年 サステナブルなソリューションカンパニー」を目指し、持続可能な社会に貢献することを企業の中心的な目標とされています。

ワンヘルスの理念も、持続可能な社会を実現するために「人、動物、環境の健康」を一体化してとらえるという視点を持っており、この両者は基本的な方向性が一致していると考えられます。

ブリヂストンは、創業以来「安心・安全な移動や暮らし」を支えることに重点に置かれています。これは、ワンヘルスが目指す「人と動物の健康を守る」という理念とも共鳴しています。

また、ブリヂストンは、「地球は未来の子どもたちからの預かり物」という考えを掲げられ、環境保護や脱炭素の実現に強くコミットされています。これは、ワンヘルスが「環境と健康の一体性」を強調する理念と一致しています。

ネイティブアメリカンの教え「地球は子孫からの預かり物」という考え方は、ブリヂストンのサステナビリティ（持続可能性）に対する姿勢に大きな影響を与え、未来のために地球環境を守ろうという意識を高めていると考えられます。

この考え方は、ワンヘルスの理念とも深くつながっており、ブリヂストンの活動は、「未来の人、動物、そして環境の健康を守る」ために、重要な役割を果たしていると考えられます。

2024年10月17日

福岡ワンヘルス協議会・事務局